

令和4年度

事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会

短期入所事業所「かのん」

(短期入所(福祉型)単独型)事業)

## 1、はじめに

令和4年度の短期入所事業所「かのん」(福祉型単独型)についても、新型コロナウイルス感染予防の対応をとりながら福祉事業所の使命として必要な利用者に対する短期入所サービスの受け入れを、利用者職員の検温・健康チェック・各所消毒・換気などの感染防止処遇を行いながら進めて行った。

利用回数の全体数は前年比減であったが、利用する人員は増えている。女性利用者の希望が増え前年に比べ1.4倍の増となっている。苫小牧市・登別市の相談ケースがあり見学対応協議検討により受け入れを行っている。児童申し込み受け入れのケースについては特性に配慮した支援が求められた。

スタッフ体制は担当支援職員及び夜勤職員の体制を主として、法人内での川沿事業運営部に属す中で、生活介護事業所よりの清掃・調理職員の派遣、GHを含めた支援職員の協力を得ている。

防災についての対応及び支援に関する備品の調達などにより生活環境を整備している。また、利用者保護者の要望により日中一時支援のサービス対応も行っているが今年度の利用実績はなかった。

短期入所スタッフ会議により利用者の状況や支援の共通認識及び確認を行った。

## 2、活動内容

### ・申込対応

家族より依頼を受け日程を整理。必要により日中活動事業所との調整を行った。行政機関との連絡調整を行った。新規利用希望者については事業説明の後利用契約を行った。

### ・日常支援

在宅より、又は日中活動事業所より入居の受け入れを行った。

#### 支援内容

居室(個室・3室)及び居間にて余暇を見守った。

バタリェック、入居時や毎朝の検温等により健康管理を行った。

食事支援、世話人により提供し必要に応じ介助支援を行った。

入浴支援、必要に応じ介助支援を行った。身体チェックを行った。

排せつ等支援、必要に応じ声掛け介助支援を行った。

睡眠、見守り支援定期巡回により確認を行った。

起床整容、必要に応じ声掛け介助支援を行った。

消耗備品の交換等随時行ってきた。

### ・支援記録

利用契約書、重要事項説明書の内容に基づいて支援を行った。

日常の利用者の状況について支援日誌へ記載により記録での整備を行った。

### ・スタッフ会議

短期入所に携わる管理者・支援職員による利用者の支援為の業務確認や共通認識の周知徹底を図っていった。

令和4年度短期入所事業「かのん」(単独型)～月別利用実績～

定員 3 名 ( )内は女性

月	利用人数	延べ 利用回数	利用人数内訳					
			区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児童区分3
4	20(6)	82(20)	0	1	3	9	7	0
5	24(7)	71(22)	1	1	4	9	9	0
6	21(7)	82(22)	0	1	3	10	6	1
7	24(8)	84(24)	1	1	4	9	8	1
8	21(7)	78(38)	0	2	3	7	8	0
9	23(8)	85(29)	1	2	3	6	10	1
10	22(8)	77(21)	0	1	3	8	9	1
11	24(8)	84(31)	1	2	3	8	9	1
12	9(3)	21(6)	0	0	1	3	5	0
1	22(7)	79(18)	1	1	3	7	9	1
2	23(8)	87(27)	0	2	3	8	8	2
3	25(9)	81(27)	1	2	3	8	8	3
合計	258(86)	916(285)	「R3…233 (71) 、 957 (203) 」					
平均	21.5(7.2)	76.3(23.8)	「R3…19.4 (5.9) 、 81.2 (16.9) 」					

日中一時利用実績

月	利用人数「R4」	利用人数「R3」
4	0(0)	0(0)
5	0(0)	0(0)
6	0(0)	0(0)
7	0(0)	0(0)
8	0(0)	1(1)
9	0(0)	0(0)
10	0(0)	0(0)
11	0(0)	0(0)
12	0(0)	2(0)
1	0(0)	0(0)
2	0(0)	0(0)
3	0(0)	0(0)
合計	0(0)	4(1)
平均	0.0(0.0)	0.33(0.08)